

# 生活福祉交通を始めます

(町内循環車両の実証運行)

7月から「生活福祉交通」がスタートします。今回の生活福祉交通は、住民アンケートなどを通じて、特に多数の要望をいただいた町内循環車両を実現するための試験的な運行です。

役場を中心に、町内を「東部・中央・西部」の3つの地域に分割し、曜日ごとに各地域内を循環することとしています。

詳しいルート図や時刻表については、今後、新聞折り込みなどによりお知らせいたします。

実際に運行する車両は、10人乗りのジャンボタクシー1台で運賃は無料です。既存のバス路線を継続させることを前提に、公共交通（広電バス、タクシーなど）の利便性の向上と、主に高齢者などいわゆる交通

弱者の通院、買い物などのための移動手段の確保を目的としています。

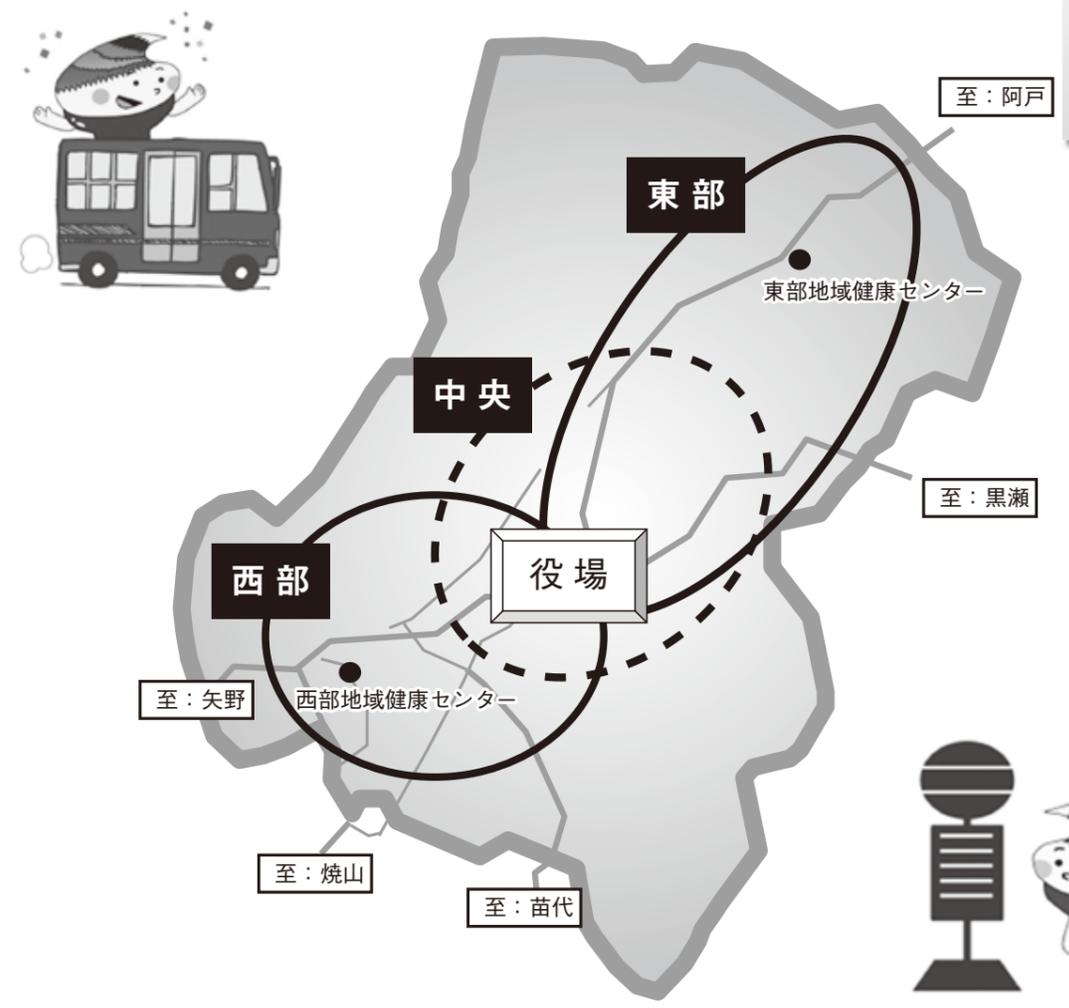
実証運行にあたり、ルート、便数、生活福祉交通の活用方法などは、平成23年度に延べ200人余りの住民に集まっていたいただき、ワークショップを開催し、住民の皆様と一緒に考えたものです。

通院や買い物などに生活福祉交通を積極的にご利用ください。

なお、この実証運行は試験的な運行として12月までの半年間の運行を予定しており、期間中、利用状況等に合わせコース、停留所時間帯などの見直しを考慮しています。

2 企画画財政課 ☎820・563

《生活福祉交通実証運行予定地域図》



## 梅雨・台風・台風に備えて

これから10月頃までは、大雨、台風などで災害が発生する危険性の高い時期となります。家族で非常時の持ち出し品の準備、避難場所の確認を行い、風水害に備えてください。



家庭での対策

①避難場所の確認  
各家庭に配布済の「熊野町総合ハザードマップ」をご活用いただき、自宅付近の地形や避難場所を確認しましょう。

立地条件による災害の傾向として、次の点を参考にしてください。

- ・川に沿った低地は 風と洪水に注意
- ・高い所は 地滑りと風に注意
- ・がけに近い所は がけ崩れに注意
- ・谷川に沿った地域は 土石流に注意

②連絡方法の確認  
集合場所をあらかじめ決めておいたり、災害伝言ダイヤルを活用するなどの連絡方法を確認しておくことも重要です。

被災地では通信障害で直接連絡が取れない事もあるので、被災していない離れた場所に住む家族や親戚、知人の家を連絡先にして、そこを経由して連絡を取り合う方法もあります。

③非常持ち出し品の準備  
左の表は一例です。この他に、乳幼児や介護を受けている人など個々に合った備えが必要です。

貴重品	現金、通帳、印鑑など
非常食	乾パン、缶詰、水など
応急医薬品	胃腸薬、生理用品など
日用品	軍手、毛布、ライターなど
衣類	上下着、タオルなど
避難用具	ラジオ、懐中電灯など

非常持ち出し品の例

荷物はリュックサックなどの両手が使ええるカバンに入れておきましょう。重さの目安は、男性で15kg、女性で10kg程度です。

④身の回りの安全対策  
自宅などの塀・石垣や窓の強化など、家屋の補強も行いましょう。

⑤情報収集と早めの避難  
最近、「ゲリラ豪雨」と呼ばれるような短時間で集中豪雨による被害が多発しています。テレビ、ラジオ、インターネット、携帯電話などで、情報を収集し、災害に備えてください。また、情報を入手したら自主的に早めの避難を心掛きましょう。



### 広島県防災情報メール 通知サービス

広島県防災情報メール通知サービスは、県内のあらかじめ設定された地域の気象情報や雨量、水位などの情報をメールで登録者へ提供するためのサービスです。携帯電話やパソコンから次のアドレスにアクセスし

て通知設定を行ってください。

HP <http://www.bousai-mail.pref.hiroshima.lg.jp>

※このページにアクセスした後、空メールを送信して返信されたメールに記載されている専用ページにアクセスします。迷惑メール対策の設定をしている人は、空メールを送る前に、bousainaiaster@bousai-mail.pref.hiroshima.lg.jpからの返信メールを受信できるように、あらかじめ設定しておいてください。



「広島県防災 Web」サイト QRコード (二次元コード)

☎総務課 820・5601